

2011年度

科目名	図工科教育法				
担当教員	竹本 封由之進				
配当	教福3(4214)			コード	12062
開期	前期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	小学校における図画工作科の指導法を修得する				
目的と概要	「子どもの造形」がもつ特性を、発達の過程や表現などを通して明らかにし、造形することの意義や図画工作科の本質、教育の目標を考察する。さらに、図画工作科授業指導案の作成演習や実技実習を通して、子どもの造形表現に必要な基礎的・基本的なことがらについて、その取り扱いを修得する。また、図画工作科授業を通して一人一人の子どもの表現能力を高め、その育ちをどのように伸長させるのか、学習方法について研究を進める。				
成績評価法	・学習の様子・提出レポート及び作品・自己評価・期末テストなどによって総合的に評価する。				
テキスト	担当者作成の学習資料を適宜提供する。				
参考書	小学校学習指導要領 文部科学省 小学校学習指導要領図画工作科編解説 文部科学省(授業中に使用します)				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	本年度の前期中に小学校へ教育実習に行く学生向けの授業です。 *1回生で受講した「絵画・工芸(含む理論)」で学んだ内容を見返しておくこと。 *毎時間配るノート、資料プリントを綴るファイルを用意すること。				
講義計画					
回	講義	演習の内容		備考(配布予定資料)	
1回	◆「図画工作科教育法」研究の意義 Ⅰ.教育の課題と教育の流れ	「絵に表す」		授業計画表	
2回	◆図画工作科造形技法のいろいろ ・造形技法にある基本的な事柄	「造形遊び」			
3回	◆図画工作科授業の計画 ・指導内容・計画について	指導計画立案		指導案例、指導案記入用紙	
4回	◆図画工作科授業の計画 ・指導案について	指導計画作成		指導細案例	
5回	◆図画工作科授業の展開 ・指導案の検討	指導案作成		細案記入用紙	
6回	◆図画工作科授業の実践 ・授業演習、研究討議	仮想授業		相互評価カード	
7回	◆学習指導要領と図画工作科教育 ・図画工作科教育の本質と目標	「鑑賞ゲーム」			
8回 ↓ 11回	《教育実習期間》	* 実際に図工科の指導を行う(後日指導案、反省記録提出)			
12回	◆「美術教育」の歩み ・明治以降の「美術教育」	臨画・罫画		わが国の美術教育の流れ	
13回	◆「美術教育」の歩み ・創造主義の美術教育	実践交流①		創造主義の教育思潮	
14回	◆これからの教科教育 ・学力観、教育理念	実践交流②			
15回	◆子どもと造形生活 ・成長発達、「遊び」と造形 ◆全体のまとめ ・図画工作科教育法で学んだことをまとめる ◆期末テスト	指導事例研究			
* 毎回、講義ノート(別途配布)に講義記録や考察を記入し、自己評価をしておくこと。(最終講義の時間に提出)					
* 教育実習中に図画工作科の授業を受け持ち、その指導案・反省記録を提出すること。					